

<アンケート調査例Ⅱ：商店街関係者>

アンケート調査の目的

商店街関係者は、地区物流の需要者であり、地区物流の効率化を促進するためには、商店街関係者との連携が重要となります。したがって、検討する地区物流効率化事業に対して商店街関係者の意識・意向を確認し、当該地区として、取り組むことができる計画を検討していくことが望まれます。具体的には、以下のような事項について、商店街関係者へアンケート調査等を実施することが想定されます。

基本的な質問事項 地区の商店の基本的な情報の把握

問 貴店の業種を次の中から一つ選び○をつけてください。

百貨店・総合スーパー、織物・衣服・身の回り品、飲食料品、自動車・自転車、家具・建具・じゅう器等、医薬品・化粧品、燃料、書籍・雑誌、スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器、時計・眼鏡・光学器械、機械器具、ジュエリー製品、その他（ ）

商品の入出荷状況についての質問事項

●入荷状況について

問 平均的な一週間における入荷頻度について、当てはまるものを一つ選び○をつけてください。

1. 週に 日程度で延週合計 回程度 2. その他（ ）

記入例：週4日で1日に2回程度の場合、4日×2回＝延週合計8回程度

問 平均的な一週間における商品の入荷のピーク曜日・時間について、教えてください。

1. 入荷のピーク曜日（ ）曜日 2. 入荷のピーク時間（ ）時

問 入荷方法について、当てはまる主なものを一つ選び○をつけてください。

1. 自家用乗用車で入荷 2. 自家用貨物車で入荷
3. 運送業者による入荷 4. その他（具体的に ）

●出荷状況について

問 平均的な一週間における出荷頻度について、当てはまるものを一つ選び○をつけてください。

1. 週に 日程度で延週合計 回程度 2. その他（ ）

記入例：週4日で1日に2回程度の場合、4日×2回＝延週合計8回程度

問 平均的な一週間における商品の出荷のピーク曜日・時間について、教えてください。

1. 出荷のピーク曜日（ ）曜日 2. 出荷のピーク時間（ ）時

問 出荷方法について、当てはまる主なものを一つ選び○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 自家用乗用車で出荷 | 2. 自家用貨物車で出荷 |
| 3. 運送業者による出荷 | 4. その他（具体的に) |

問 入出荷時に利用する貨物車の種類を一つ選び○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. ライトバン等(軽車両含む) | 2. 1～1.5 t 車 |
| 3. 2t 車 | 4. 2t 車ロングボディ |
| 5. 3t 車以上 | 6. 冷蔵・冷凍車 |
| 7. その他 () | |

計画内容についての質問事項(例：共同配送への参加意向等)

●共同集配送について

共同集配送とは、別々の貨物車で集配送していた荷物を、商店街等の配送地区の手前にある集約地点で積み替えを行い、1 台の貨物車にまとめて商店に集配送することです。このような共同配送には下表のような利点、課題点が挙げられています。

【利点】

- ・複数の運送業者がそれぞれ個別に集配送していた貨物をまとめることで、貨物車の削減が可能となり、地区の交通整序や CO2 排出量の削減が可能となる。

【課題点】

- ・貨物の混載となるため、特別な取り扱いが必要とされる荷物（冷蔵品等）に対応できない。
- ・1 台の貨物車で複数店舗を回るため、指定された時刻の配送に対応できない可能性がある等が想定される。

問 貴商店街において共同配送を行うことになった場合、協力する可能性はありますか。どちらか一つ選び○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------|------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. その他 () |
|-------|--------|------------|

問 貴店において協力が難しいと考えられる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 共同配送車両で運べる商品（冷蔵・冷凍品等）ではないから。 |
| 2. 指定した時間に集配送されない可能性があるため。 |
| 3. 荷の誤配・損傷等に不安があるため。 |
| 4. その他 () |